

日本書にいるようかいからなかしますというというとうかんかんかんかんかんかんかんかん

埼 玉 駅 医 師 会 報

第 637 号

平成28年11月20日編集

発 行 所

公益 埼玉県 獣医師 会社団法人 埼玉県 獣医

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340 (埼玉県農業共済会館内)

電 話 048(645) 1 9 0 6 FAX 048(648) 1 8 6 5

E-mail:s-vma@vesta.ocn.ne.jp URL:http://www.saitama-vma.org/ 振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 髙 橋 三 男 編集責任者 大 橋 邦 啓

印刷所㈱アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催のご案内・・・・・・ 1 第60回埼玉県公衆衛生大会開催される・・・・・ 2 平成28年度全国獣医師会会長会議開催 される・・・・・・・・・・ 3
慶事 髙橋三男会長 財務大臣納税表彰を受彰…4
会務報告 第 3 回理事会·······5 第 2 回狂犬病予防委員会·····5
予告北支部学術講習会のお知らせ①・・・・・6北支部学術講習会のお知らせ②・・・・・66南第一支部・南第二支部合同学術講習会のお知らせ・・・・・・・・・77西支部学術講習会のお知らせ・・・・・77さいたま市支部学術講習会のお知らせ・・・・8
新入会員報告 新入会員紹介······8
ひろば 第 2 回世界獣医師会 – 世界医師会 "One Health"に関する国際会議の報告 … 9 日本獣医師会主催「2016動物感謝デー in JAPAN」開催される11 西支部学術講習会開催報告13(

北支部・しゃくなげ会埼玉県支部・埼玉県 畜産技術振興会合同研修会学術講習会 開催報告・・・・・・・13
お知らせ 獣医師法第22条の規定に基づく届出に ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
切り抜きニュース ○尻尾iPSから大量卵子 -九大チーム初マウス8匹誕生
埼玉県獣医師会学術広報版21 事務局より 事務局メモ23 編集後記24

公益社団法人 埼玉県獣医師会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会員は、それぞれの 職域において、その責務を遂行し、県民の福祉 増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま す。

わたくしたち埼玉県獣医師会員は

- 1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
- 1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
- 1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
- 1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
- 1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会 平成28年度集合狂犬病 予防注射実施者講習会開催のご案内

(公社)埼玉県獣医師会会長 髙橋 三男 狂犬病予防委員会委員長 八木 賢裕

平成29年度集合狂犬病予防注射事業の的確な実施に向け、埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領に基づき、平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を下記のとおり開催します。今回は昨今の小動物獣医療を巡る情勢を踏まえ、狂犬病対策に加え、動物病院の今後の方向性など、幅広い観点からの講習会といたしますので、集合狂犬病予防注射実施希望の先生におかれましては受講をお願いいたします。

また、勤務部会(農林、衛生、団体各支部)の先生方におかれましても積極的な参加をお願いいたします。

1 日 時 平成28年12月7日(水)

受付 午後 1 時15分~ 開会 午後 1 時45分 閉会 午後 4 時30分

2 場 所 市民会館おおみや 大ホール

さいたま市大宮区下町3-47-8 TEL:048-641-6131 FAX:048-641-6133 (JR 大宮駅下車 東口から徒歩15分)

3 内容

(1) 会長挨拶

- 動物病院の変遷と狂犬病予防注射の接種率を考える -

(2) 講演

① 狂犬病対策の体験を語る

講師 埼玉県獣医師会 東支部 宮澤 勉 先生

② 過去・現在から見た動物病院経営の将来展望は?

講師 ㈱メディカルプラザ代表取締役 西川芳彦 先生

③ 私の動物病院経営、経験から見えてきた現況と課題

講師 埼玉県獣医師会 北支部 小林孝之 先生

(3) 事務連絡

4 その他

- (1) 当日は時間厳守にてお願いします。
- (2) ご不便をお掛けしますが、会場の駐車場(50台)は台数が限られておりますので、公共交通機関又は付近の有料駐車場を利用ください。

第60回埼玉県公衆衛生大会開催される

平成28年10月21日(金)午後2時から、さいたま市のさいたま共済会館6Fホールにおいて、第60回埼玉県公衆衛生大会が開催され、本会の6名の先生方が「公衆衛生事業功労者」として埼玉県知事表彰を受彰されました。

当日は、主催者の上田清司埼玉県知事代理の塩川修副知事から「埼玉県では、昨年から、医療費の抑制効果が示された毎日1万歩運動など、健康長寿埼玉モデルの展開とともに、今年度中に医療と介護の全県体制を早急に整備していくため、県内郡市の医師会の全てに在宅医療の拠点を設置し、質の高い効率的な行政医療体制を進めていく。皆様には、それぞれの立場から埼玉県の取組に対して、引き続き御支援をお願いする。」と御挨拶がありました。

続いて、公衆衛生事業功労者(104名)や功労団体などの受彰者のお名前が紹介され、副知事から受彰者 代表に表彰状が授与されました。

来賓の宮崎栄治郎埼玉県議会議長並びに金井忠男埼玉県医師会長が祝辞を述べられた後、髙橋三男埼玉県 獣医師会長をはじめ保健医療関係団体の会長が紹介されました。

第一部の式典終了後、副知事や議長を囲んでの記念撮影が行われ、午後3時20分からは、第二部として第60回大会を記念して落語家の立川談修師匠をお招きして「笑いと健康長寿」のお話があり、公衆衛生大会は午後4時20分に閉会しました。

本年度、受彰の栄に浴された埼玉県獣医師会会員の先生方は次のとおりです。誠におめでとうございます。

公衆衛生事業功労者表彰受彰者

吉谷泰一先生さいたま市支部(さいたま市)佐藤義広先生南第一支部(川口市)根岸孝行先生南第二支部(鴻巣市)笠井出美先生西支部(富士見市)小林孝之先生北支部(深谷市)原 史典先生東支部(越谷市)



左から 笠井出美先生(西支部)、佐藤義広先生(南第一支部)、髙橋三男会長、塩川修埼玉県副知事、 宮崎栄治郎埼玉県議会議長、吉谷泰一先生(さいたま市支部)、根岸孝行先生(南第二支部)

平成28年度全国獣医師会会長会議開催される



常設議長として議事を進行する髙橋三男埼玉県獣医師会長 右は副議長の宮澤宏前長野県獣医師会長

平成28年度全国獣医師会会長会議が平成28年11月9日の午後3時から、第2回世界獣医師会-世界医師会 "One Health"に関する国際会議の開催に合わせて、福岡県北九州市のリーガロイヤルホテル小倉「ロイヤルホール」において開催されました。会議では、常設議長である髙橋三男埼玉県獣医師会長と副議長である宮澤 宏前長野県獣医師会長が議事を進行しました。

会議では、冒頭、主催者として藏内勇夫日本獣医師会長、続いて北村直人日本獣医師会顧問(同政治連盟委員長)が挨拶した後、司会者の紹介により、髙橋三男常設議長が宮澤 宏副議長とともに登壇し、「私と宮澤副議長とで、厳正で公平な議事運営を進めてまいりたい。」と挨拶し、議事に入りました。

議事では、まず①第2回世界獣医師会-世界医師会 "One Health" に関する国際会議の開催に関する件、②2016動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day" の開催に関する件、③獣医学術学会年次大会の開催に関する件、④熊本地震支援・救護活動等に関する件、⑤特定寄附金及び指定寄附金に関する件、⑥公益目的事業等の変更認定に関する件、⑦アジア地域臨床獣医師等総合研修事業に関する件、⑧特別委員会及び部会委員会に関する件について境 政人専務理事から説明があり、全て了承されました。

また、その他の報告・連絡事項として、境専務理事から、当面の日本獣医師会関係の主要会議等の開催計画の説明と、北村直人日本獣医師会顧問からは、国家戦略特区など、日本獣医師政治連盟の活動報告がありました。

髙橋議長は、これらの説明等に対する質問や意見の調整に当たられ、限られた時間で効率よく会議が進行できるよう配慮されておられました。

閉会に当たっては、日本獣医師会から議長、副議長に感謝する旨の発言があり、予定した午後5時に、全 国獣医師会会長会議は閉会となりました。

また、会議終了後には、同室にて「日本医師会・日本獣医師会会長招待レセプション」が開催されました。 このレセプションには、会長会議の出席者に加えて、翌10日(木)・11日(金)の2日間にわたって開催される 「第2回世界獣医師会 - 世界医師会 "One Health"に関する国際会議」と、12日(土)に開催される「2016動 物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"」に参加していただく地方獣医師会関係者と、日本獣医師会と日本医師会のそれぞれが招待した国内外からの来賓にも参加していただき、和やかな中、お互いの交流と懇親を深められました。



第2回世界獣医師会-世界医師会"One Health"に関する国際会議の成功に向け、海外からの来賓の方々を紹介

慶事

高橋三男会長 財務大臣納税表彰を受彰





埼玉県獣医師会 髙橋三男会長は、10月25日、東京都港区の「三田共用会議所」に於いて開催された平成28年度納税表彰式にて、財務大臣表彰を受彰されました。平成28年度の財務大臣被表彰者は全国で47名であり、埼玉県からは髙橋会長1名が表彰されました。

髙橋会長は埼玉県獣医師会会長として長年、畜産振興・公衆衛生の向上・食の安全確保・動物愛護精神の高揚など、幅広い分野で獣医療の発展・向上に取り組むかたわら、地域社会の先頭に立って納税思想の普及・高揚に努められるとともに、地元の春日部税務署管内青色申告会連合会会長を始め、埼玉県青色申告連合会会長、関東信越青色申告会連合会副会長等として活躍されてまいりました。

その結果、これらの活動を通じた納税道義の高揚と正しい税知 識の普及、申告納税制度の普及発展に努められてきた功績が認め られ、財務大臣表彰の栄に浴されたものです。

埼玉県獣医師会としても大変名誉あることであり、会報にてご 紹介申し上げます。

会務報告

第3回 理事会

平成28年10月27日(木)午後4時から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を審議した。

1 会長挨拶

6月8日の総会以降、これまで順調に事業が推進されてきたのは、役員のご理解とご協力のお陰であり、厚く御礼申し上げる。

埼玉県獣医師会の運営を開業獣医師だけで行っていく時代は終わって、さりとて、行政主導型の時代でもない。官民が一体となって事業に取り組んでいくべきだ。皆さんには、下半期の事業の推進にしっかりと当たっていただきたい。

2 報告事項

- (1) 前理事会後に開催された委員会等に関する件
 - ア 第1回狂犬病予防委員会及び班長会議
 - 平成28年度集合狂犬病予防注射実施状況の報告と検討を行った。(7月14日)
 - イ 第1回開業部会第1・第2運営委員会(合同)
 - 入会促進と平成27年度傷病野生鳥獣治療業務費の配分案等について協議した。(9月30日)
 - ウ 第2回獣医事調査委員会
 - 新入会員の審査について書面協議を行った。(10月)
 - 工 第1回厚生委員会
 - ソフトボール大会の結果報告(10月10日)とボウリング大会の開催予定日(平成29年2月12日)について協議した。
- (2) 業務執行理事職務執行状況に関する件
 - 業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。
- (3) その他
 - ア 関東・東京合同地区獣医師大会・学会 (9月11日 川崎市 ホテルKSP)
 - イ 熊本地震の義援金の状況
 - ウ マイクロチップリーダーの配布について

3 議決事項

第1号議案 平成28年度新入会員の承認に関する件

入会申込み(衛生支部2名、農林支部3名、団体支部18名)について審査の上、全ての入会を承認した。 第2号議案 平成27年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件

平成27年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ処分業務に係る委託費について、指定診療施設ごとの配分額を承認した。

4 協議事項

- (1) 平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催に関する件
 - 平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を平成28年12月7日に開催することを決定した。
- (2) 平成28年度下半期の行事日程等に関する件
 - 新入会員研修会、集合狂犬病予防注射実施者講習会、第4回理事会、平成29年度総会開催日程について協議した。
- (3) その他
 - 次の事項について報告された。
 - ア 獣医内科アカデミー学術大会参加者への助成について
 - イ 入会促進のためのリーフレットの作成について
 - ウ 入会申込書の様式の改正について
 - エ 特定費用準備資金の取り扱いについて

第2回狂犬病予防委員会

平成28年10月31日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

協議事項

- (1) 集合狂犬病予防注射実施者講習会進行計画について
 - 12月7日(水)に、さいたま市の「市民会館おおみや」で開催予定の集合狂犬病予防注射実施者講習会の日程と運営について了承を得た。
- (2) 平成29年度集合狂犬病予防注射実施スケジュールについて

確認事項

平成29年度集合狂犬病予防注射 実施予定者の調整について

予告 北支部学術講習会のお知らせ①

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(7))

北支部長 大橋 邦啓

北支部では、12月11日(日)に日本大学 獣医内科学研究室 教授 亘 敏広先生をお招きして学術講習会を開催いたします。「難治性消化器疾患と内視鏡検査(仮)」と題しまして講義していただくことになりました。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成28年12月11日(日)

研修会 13:30~17:00

場 所 熊谷文化創造館 さくらめいと 会議室 2

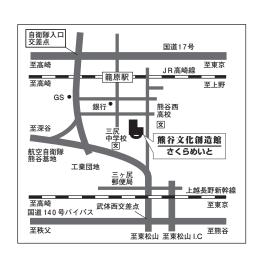
熊谷市拾六間111-1 TEL 048-532-0002

演 題 「難治性消化器疾患と内視鏡検査(仮)」

講 師 日本大学 獣医内科学研究室 教授 亘 敏広先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 3,000円



北支部学術講習会のお知らせ②

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

北支部長 大橋 邦啓

北支部では、平成29年1月15日(日)にどうぶつ眼科EyeVet 小林一郎先生をお招きして学術講習会を開催いたします。「緑内障の診断と治療」と題しまして講義していただくことになりました。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成29年1月15日(日)

研修会 17:00~19:00

場 所 埼玉グランドホテル深谷

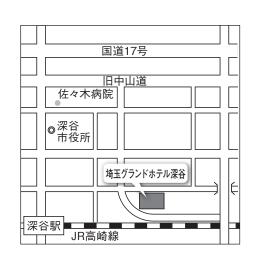
深谷市西島町1-1-13 TEL 048-571-2111

演 題 「緑内障の診断と治療」

講 師 どうぶつ眼科EveVet 小林 一郎先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 3,000円



南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3(10))

南第一支部長 田中 裕南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部、南第二支部では、12月18日(日)東京大学 教授 松木直章先生をお招きして学術講習会を開催することとなりました。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成28年12月18日(日)

14:00~17:00(受付13:30~)

場 所 大宮ソニックシティビル 604会議室

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

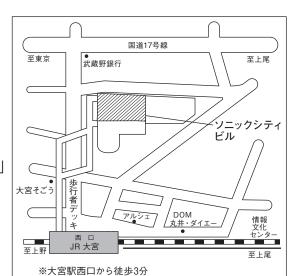
TEL 048-647-4111

演 題 「犬の特発性でんかん・特発性脳炎の診断と治療」

講 師 東京大学 教授 松木 直章先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5,000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小3(9))

西支部長 別部 博司

西支部では、平成29年1月15日(日)に東京大学附属動物医療センター 本阿彌宗紀先生をお招きして『膝 関節疾患へのアプローチと外科テクニック』の演題で講習を行います。多くの先生方のご参加をお待ちして おります。

日 時 平成29年1月15日(日)

13:30~16:30 (13:00受付)

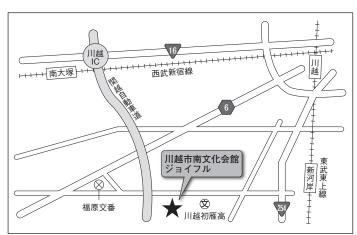
場 所 川越市南文化会館(ジョイフル)

川越市今福1295-2 TEL 049-248-4115

演 題 「膝関節疾患へのアプローチと 外科テクニック」

講師 東京大学附属動物医療センター本阿彌 宗紀先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料 会員以外の受講者 5,000円



さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯教育研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小1(5) 小2(1))

さいたま市支部長 山中 利之

さいたま市支部では、第1回、第2回と連続して、東京大学 附属動物医療センター特任助教 荒田明日 香先生にご講演をお願いいたしました。

まず、第1回は、平成29年1月29日(日)「疾患と問題行動の関わり」というタイトルで、問題行動と治療の概要説明、皮膚疾患との関連、中枢神経系疾患との関連、認知障害などについて、ご講演いただきます。

問題行動とは、人間社会と協調できない行動、あるいは飼い主が問題と感じる行動と定義され、その中には疾患による行動変化と鑑別が困難なものや、疾患との併発が多く見られるものもあるそうです。

本講演では、まず問題行動の診断や治療の概要をお話し頂き、続いて、皮膚疾患や中枢神経系疾患など行動変化を起こしやすいもの、高齢化に伴い増加傾向にあると考えられる認知機能不全症候群について紹介していただきます。

是非、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成29年1月29日(日)

 $13:30\sim17:00$

場 所 WithYouさいたま(ブリランテ武蔵野 4 F)

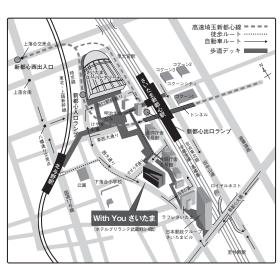
視聴覚セミナー室 さいたま市中央区新都心2-2 TEL 048-601-3111

演 題 「疾患と問題行動の関わり」

講 師 東京大学 附属動物医療センター特任助教

荒田明日香先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料 非会員5,000円



(新入会員報告)

新入会員



道井 麻維子 さいたま市在住 団体支部



中西 洋一 久喜市在住 団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・勤務先
団 体	直 井 麻 維 子	さいたま市 直井動物病院
団体	中 西 洋 一	さいたま市 直井動物病院

ひろば

第2回世界獣医師会 - 世界医師会"One Health"に 関する国際会議の報告





会場となった「リーガロイヤルホテル小倉」

平成28年11月10日(木)・11日(金)の2日間、世界獣医師会、世界医師会、日本獣医師会、日本医師会が主催する第2回世界獣医師会-世界医師会 "One Health"に関する国際会議が、福岡県北九州市の「リーガロイヤルホテル小倉」を会場に、秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと、世界31か国と日本全国から約640名が参加して開催されました。

この会議では、「"One Health"の概念」をかわきりに、人と動物の共通感染症、薬剤耐性(AMR)対策、 県民公開講座など、国際色豊かなテーマで講演や発表がありました。

1 開会式

第1日目の10日(木)午前9時からの開会式では、主催者側からジョンソン・チャン世界獣医師会次期会長、ザビエル・ドォー世界医師会元会長、横倉義武日本医師会長、WMA次期会長、藏内勇夫日本獣医師会長、釘田博文FAO/OIE/WHO代表からの挨拶に引き続き、秋篠宮殿下から「この会議を通じて多くの人々が人と動物の健康に対して関心を寄せ、理解を深める機会になることを期待する。」とお言葉を頂ました。続いて、厚生労働省、農林水産省、小川洋福岡県知事、北橋健治北九州市長から祝辞がありました。



開会式で、秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと、 挨拶する藏内勇夫日本獣医師会長



開会式に出席した埼玉県からの出席者(左側から髙橋三男会長、山根康義先生、中村滋副会長)

2 会議

10日(木)の午前10時からは横倉義武会長が座長となって、基調講演が始まりました。講演者は株式会社島津製作所 シニアフェロー・田中耕一記 念質量分析研究所長の田中耕一先生で、平成14年にはノーベル化学賞を受賞されました。先生からは、「感染症の予防対策や治療を行うため、分析機器の役割が増してきている。分析機器は既知の物質を確認するだけでなく、人の血液を分析すると、無数とも思える未知の化合物が見えてくる。世界との交流や協調による日本からの寄与や分析機器の貢献が期待されている。」と結ばれました。

また、同日の午後には、人と動物の共通感染症をテーマに、日本人4名 と海外からの6名の方々が講師となって講演がありました。

特に、草場治雄福岡県獣医師会長からは、獣医師会として「人と動物の 共通感染症対策シンポジウム」の開催や「共通感染症対策委員会」を設置



講演する田中耕一 島津製作所 質量分析研究所長

し、「共通感染症発生状況調査」の検査材料採材計画や検体の取りまとめ、検査結果に基づく検討・分析・ 評価を委員会で行い、県議会に提出するなどの役割を担ってきた旨のお話がありました。



インドネシアの狂犬病対策

また、アフリカ、インドネシア、ケニア、ベトナムでの新たな取組状況が報告されました。例えば、ザンビアで捕獲されたオオコウモリからはフィロウイルスのゲノムRNAは検出されていない、インドネシアでは人獣共通感染症の中で狂犬病の発生数が最も多いが、2020年には狂犬病を根絶していく。ケニアと日本の大学でコラボレーションしてウイルスの遺伝子解析を行っていく。ベトナムでは手洗いを励行することで感染症をこれまでの半分の率まで落とせたことなど、有益なお話を聞くことができました。

3 歓迎交流会

10日(木)の午後7時からは同ホテルの「エンパイアルーム」において、福岡県と北九州市主催の歓迎交流会が開催されました。

歓迎交流会は太宰府天満宮の雅楽演奏に始まり、主催者である小川福岡県知事、北橋北九州市長の歓迎の 挨拶に続き、ジョンソン・チャン世界獣医師会次期会長、ザビエル・ドォー世界医師会元会長、藏内勇夫日 本獣医師会会長、中尾正幸福岡県議会議長の感謝とお礼のあいさつがあり、その後、来賓を交えた方々で鏡 開きがありました。

戸町武弘北九州市議会議長の乾杯により歓談に入りましたが、歓迎交流会には、来賓を始め、地元の獣医師会や医師会の先生方も含めて500名を超える多くの方々が参加し、和やかな雰囲気のなかで交流を深めていました。



福岡県・北九州市の歓迎セレモニー (太宰府天満宮の雅楽演奏)



小川洋福岡県知事の歓迎挨拶

4 福岡宣言

第2日目の11日(金)も午前8時という早い時間から会議が始まり、薬剤耐性対策の話をかわきりに、県民公開講座、"One Health"の概念の考察をテーマに議論が交わされました。特に、県民公開講座では宇宙飛行士の毛利衛氏から、「地球に生命が生まれて40億年、大気のお陰で地球生命はつながってきた。現在地球では、原始細胞のような単純な生命から人間のような複雑な生命まで五千万種が存在しているが、人間の営みが加速度的に環境変化を引き起こし地球生命体すべてに影響を与えている。」など、印象に残るお話がありました。午後4時過ぎには、総括として、世界獣医師会、世界医師会、日本獣医師会、日本医師会の4団体で、行動と実践に向けた次の4項目の「福岡宣言」を採択し、2日間にわたる国際会議は閉幕となりました。

「福岡宣言」

- 1. 医師と獣医師は、人と動物の共通感染症予防のための情報交換を促進し、協力関係を強化するとともに、その研究体制の整備に向け、一層の連携・協力を図る。
- 2. 医師と獣医師は、人と動物の医療において重要な抗菌剤の責任ある使用のため、協力関係を強化する。
- 3. 医師と獣医師は、"One Health"の概念の理解と実践を含む医学教育および獣医学教育の改善・整備を図る活動を支援する。
- 4. 医師と獣医師は、健康で安全な社会の構築に係る全ての課題解決のために両者の交流を促進し、協力関係を強化する。

日本獣医師会主催「2016動物感謝デー in JAPAN」開催される



開会式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会長(中央) 前列、向かって左が、髙橋三男会長(動物感謝デー企画検討委員会委員長)

2日間にわたって開催された「第2回世界獣医師会 - 世界医師会 "OneHealth" に関する国際会議」に引き続き、平成28年11月12日(土)には、日本獣医師会主催による「2016動物感謝デー in JAPAN」が福岡県北九州市の「西日本総合展示場」とこれに隣接する「汐風公園」で開催されました。

この動物感謝デーは、獣医師が活躍する多様な職域や獣医療の社会的役割について国民に理解を深めても

らうとともに、動物の福祉と愛護精神の高揚を通じて人と動物が共存する豊かな社会の形成を目的に、地方 獣医師会や関連団体が協賛して2007年以降開催されています。これまで、東京都内で開催されてきましたが、 10回目を数える今年は、初めて東京の地を離れて開催されました。

髙橋三男会長は、動物感謝デー企画検討委員会の委員長を務められており、運営に際しては髙橋委員長が 先頭に立って「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマにイベントなどの企画立案 に取り組んでこられました。

天候にも恵まれ、会場では多彩なイベントが催され、24,000人を上回る多くの家族連れなどで賑わいました。

開会式

午前10時からの開会式では、主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会長が挨拶し、来賓の小川洋福岡県知事や北橋健治北九州市長から祝辞を頂くとともに、国会議員、福岡県議会議員、北九州市議会議員の皆様の祝辞や紹介がありました。続いて、地元九州で活動する鷹匠が操る鷹が開会宣言文をステージまで運び、宣言文を受け取った砂原和文日本獣医師会副会長が開会を宣言しました。

開会式の後、展示会場では、共通感染症シンポジウム、鷹匠によるパフォーマンスや「獣医師の仕事」などを分かりやすく紹介するプログラムなどが行われました。

動物ふれあいコーナーや獣医師を体験できるコーナーも設置されるとともに、警察犬・災害救助犬・聴導犬など働く動物たちのデモンストレーション、また、屋外の汐風公園では、九州地区などの獣医師会のテントブースが設けられ、特産物のPRなどが行われておりました。さらに、ホースアトラクションとしてホースセラピーや地元保存会による流鏑馬の実演などが繰り広げられるなど、多彩なイベントに来場者は絶えることなく、一日、楽しんでいました。



鷹匠によるパフォーマンス



流鏑馬の実演

閉会式

閉会式は午後4時30分からメインステージで行われました。

まず、動物感謝デー企画検討委員会委員長の髙橋三男会長が壇上に立ち、「この動物感謝デーが、医師と獣医師が連携して昨日まで開催されていた"OneHealth"に関する国際会議に引き続いて開催できたことは意義深い。今回の福岡県での諸行事を契機に、人と動物の共通感染症対策や動物愛護に対して理解が一層深まっていくことを期待したい。」と閉会の辞を述べられ、北村直人日本獣医師会顧問の閉会宣言により閉会となりました。



企画検討委員会委員長として閉会の辞を述べる髙橋三男会長

ひろば

西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員 佐藤 博司

10月30日(日)、川越西文化会館にて西支部学術講習会を開催いたしました。東京動物心臓病センター 岩 永孝治先生をお招きし、『犬の循環器診療アップデート』という演題でご講演いただきました。

講演のターゲットをMRと肺高血圧にしばり、専門医として積み上げた経験を、大変わかりやすく熱意溢れる講習をしてくださいました。エコー検査のテクニックも教えていただき、明日からの診療にすぐに活かせる内容でした。

参加してくださった先生方に心より感謝申し上げます。次回の『猫の循環器診療アップデート』もよろしくお願いいたします。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
43名	0名	0名	1名	30名	2名	2名	6名	2名

北支部・しゃくなげ会埼玉県支部・埼玉県畜産技術振興会 合同研修会学術講習会開催報告

埼玉県獣医師会北支部長 大橋 邦啓 しゃくなげ会埼玉県支部長 柿沼 清市 埼玉県畜産技術振興会長 中村 陽二

北支部・しゃくなげ会埼玉県支部・埼玉県畜産技術振興会合同学術講習会を、10月22日(土)「埼玉県農林 公園」にて開催いたしました。

酪農学園大学 生産動物内科学 1 ユニット 准教授 大塚浩通先生をお招きし、「子牛の飼養管理」という テーマでご講演をいただきました。

子牛の飼養管理について「哺乳から育成期」を、実際に大塚先生が農家で治療・指導した事例を豊富に紹介していただき、参加者にわかりやすく説明していただきました。今回は獣医師だけでなく各関係機関、近隣の酪農家及び畜産農家も多数出席いただきまして大変有意義な研修会になったものと思います

<参加者内訳>

出席者	北支部	農林支部	団体支部
49名	6名	5名	38名

お知らせ

獣医師法第22条の規定に基づく届出について

本年は2年に一度の届出(知事を経由して農林水産大臣に届出)を行う年になっております。

届出書(獣医師法施行規則 第6号様式)につきましては、本会報(第637号)に同封されておりますので、 ご活用ください。

なお、「届出書」は、平成28年12月31日現在の状況を記入し、平成29年1月1日から1月31日までの間に 埼玉県に届出(郵送又は持参)する必要がありますが、下記のとおり、県に直接提出いただくか、希望する 会員の先生につきましては、前回同様、本会事務局に1月20日(金)までに提出していただければ、事務局で 取りまとめて県に提出します。

記

1 提出先: 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県農林部畜産安全課家畜衛生担当あて

※注意: Eメールやファックスでの提出は受け付けできません。

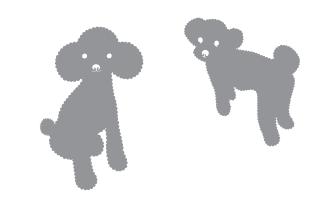
持参の場合、受付は午前8時30分から午後5時15分までです。

(閉庁日(土日祝祭日)は受け付けできません。)

2 提出部数: 3枚複写のうち、1枚目は届出者で保管し、2枚目と3枚目を提出してください。

※ 詳しくは、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html



---- テレビ埼玉で放映 ----

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成29年1月2日(月・振休) 午前11時55分~12時00分 テレビ埼玉



埼玉県獣医師会主催ボウリング大会開催のお知らせ

厚生委員会委員長 山中 利之

会員及びその関係者相互の親睦と健康の増進を目的にボウリング同好会の協力を得て、埼玉県獣医師会主催「ボウリング大会」を次のとおり開催いたします。

多くの皆様にご参加いただき、会員相互やご家族、関係者の皆様との親睦を深め、楽しい時をお過ごしください。

1 日 時 平成29年2月12日(日)

集 合 午後 3 時30分 競技開始 午後 4 時

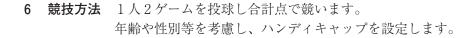
2 場 所 スポルト浦和国際ボウル さいたま市桜区中島4-1-1 TEL 048-853-4921

3 参加費 1.500円

(貸靴料:別途、自己負担)

4 参加要件 会員とその家族及び従業員、賛助会員など

5 予定人員 60名 (20レーン×3人=60人)



7 表彰式 競技終了後、ボウリング場内にて行います。

8 参加申込

参加希望者は、平成29年1月20日(金)までに氏名・年齢・性別を各支部の厚生委員に伝え、お申し込みください。

厚生委員は、1月27日(金)までに参加者を取りまとめの上、埼玉県獣医師会事務局に報告してください。

第13回日本獣医内科学アカデミー学術大会参加者 に対する助成金交付について

本会では会員の獣医学術の研鑽向上に向け、標記学術大会に参加した開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部を助成金として交付しております。

つきましては、助成金交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

1 第13回学術大会

- (1) 開催月日 平成29年2月17日(金)~19日(日)
- (2) 会 場 「パシフィコ横浜」 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
- (3) 主 催 日本獣医内科学アカデミー (JCVIM)
- (4) 参加登録費(抄録は別)

(※学会会員、共催団体の埼玉県獣医師会会員、非会員とも同額)



(n /s t - tn	事前登録	当日登録
一般参加者	20,000円	28,000円
1日参加者		
2月17日(金)	12,000円	17,000円
2月18日(土)	13,000円	18,000円
2月19日(日)	13,000円	18,000円
抄録集 (冊子)	3,000円	(2冊セット)
WALME (DDD.)	38 3) 11 TID 1- 10	18 T A

※抄録集(PDFバージョン)は、HPよりダウンロード可能。

(5) 事前参加登録締切 平成29年1月25日(水)

今回からオンライン登録のみの受付となりました。

2 助成金

- (1) 助成金額 1人当たり 5,000円 (開業支部会員に限る。)
- (2) 助成金交付事務手続き

「参加登録費」の支払いを証する書面(下記の何れか)の写しを、埼玉県獣医師会事務局まで提出してください。

- 「登録費領収書」
- 「参加登録証(E-mail)|

提出期限 平成29年3月9日(木)まで(必着)

※本学術大会の詳細な内容等については、「日本獣医内科学アカデミー学術大会」ホームページをご覧く ださい。

> 28日獣発第207号 平成28年11月15日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会 会長 藏 内 勇 夫

「熊本地震ペット救援センター」運営のための 募金活動のご協力について(依頼)

日頃より、本会の業務運営に種々ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、本年4月に発生した熊本地震に伴う動物救護活動の一環として、本会熊本地震救援緊急対策本部が行った義援金の募集には、多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、本会、一般社団法人九州動物福祉協会、九州地区獣医師会連合会、及び公益社団法人大分県獣 医師会では、九州圏における動物救援拠点施設として、九州災害時動物救援センターの設置を進めて来 ました。しかし、熊本地震による被災者の避難生活が長期化し、保護預かり動物が増加して公共の動物 保護施設等での収容が困難となっているため、センターを熊本地震ペット救援センターとして急遽開設 し、被災動物を無料で預かり、保護管理を行うこととなりました。

今般、九州災害時動物救援センターは、その運営費用等に充てるため、広く一般からの募金活動を開始することとし、別添(省略)のとおり協力依頼がありました。つきましては、地方獣医師会におかれても、会員の動物病院等における募金活動について、別紙(省略)をご参照の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※ 送金につきましては、直接現地にお振り込み願います。

銀行名 西日本シティ銀行

支店名 天神支店

普・当 普通預金

口座番号 3090996

口座名義 九州災害時動物救援センター センター長 古賀友行 (キュウシュウサイカ・イン・ト・ウブ・ツキュウエンセンター センターチョウ コカ・トモユキ)

11月は薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間です

~ アクションプランに基づき抗菌剤の慎重使用を徹底しましょう! ~

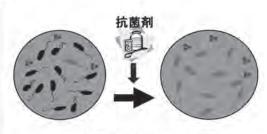
農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課

薬剤耐性菌とは?

薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。薬剤耐性菌は、抗菌剤の使い過ぎなどにより増加し、人 や動物の治療が困難になります。

世界的に、薬剤耐性菌による感染症が増加しており、大きな問題となっています。

そのため、昨年5月にWHOが国際行動計画を採択し、 我が国でも、本年4月、今後5年間に取り組むべき対 策をまとめた行動計画(アクションプラン)が決定さ れました。



抗菌剤があっても生存・増殖 (薬剤耐性菌)

抗菌剤により死滅(感受性菌)



薬剤耐性問題と動物分野との関わりは?

抗菌剤は、動物分野でも使用されており、家畜や愛玩動物の健康を守るために必要不可欠な資材です。

動物への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、動物の治療を困難にするだけでなく、動物から人に伝播し、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

そのため、アクションプランでは、人の医療分野とともに、動物分野において必要な取組が記載されています。

愛玩動物医療関係者が実施すべき対策は?

愛玩動物医療関係者の皆様には、薬剤耐性菌問題を理解し、 「抗菌剤の慎重使用」に取り組むことが求められています。 具体的には、次のような取組が挙げられます。

- ① 抗菌剤の使用を真に必要な場合に限定すること
- ② 使用する場合は、感受性試験などにより、有効な抗菌剤を選択し必要最小限の使用とすること
- ③ フルオロキノロン等の第二次選択薬は第一次選択薬が無効の場合のみ使用する。





畜産分野では、抗菌剤の慎重使用に関する基本的な考え方※を示し、取組を推進していますが、愛玩動物分野でも同様に、慎重使用を徹底する必要があります。「抗菌剤を使用すると耐性菌が選択される」ことを常に意識し、慎重使用を徹底するようお願いします。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

※ 畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方(2013年12月公表)

農林水産省 抗菌性物質

詳細は、農林水産省HPに掲載しています。





http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/koukinzai.html

平成29年 西支部新年会のお知らせ

西支部長 別部 博司

西支部の地域(比企郡、入間郡、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、川越市、富士見市、ふ じみ野市、狭山市、入間市、所沢市)にお住まい又はお勤めの会員の皆様へ、恒例の西支部新年会のお知ら せをいたします。

日頃お会いする機会の少ない衛生支部、農林支部、団体支部の先生方にもお気軽にご参加いただき、会員 相互の交流、親睦を深める良い機会になれば幸いと存じます。

アトラクションには、今回も和楽器の音色を楽しんでいただきたいと思い、隅田川花火大会でも演奏されました津軽三味線の女性ユニットのお二方にお願いをいたしました。新春の一夜を津軽三味線の音色でお楽しみいただきたいと存じます。多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

尚、今回は会場が変更になっておりますので、ご留意いただきたくお願いいたします。

日時、場所は下記の通りです。参加希望の方は1月10日(火)までにFAXで栢森までお申し込みください。

記

日 時 平成29年1月22日(日) 開宴 19時00分

(受付 18時30分~)

場 所 川越東武ホテル 3階 瑞光

川越市脇田町29-1

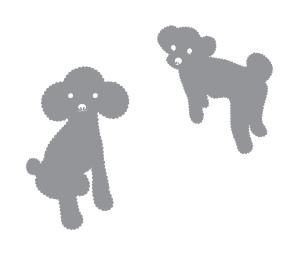
TEL 049-225-0111

会 費 10,000円

お問い合わせ・お申し込み 西支部新年会実行委員長 栢森 武等 (高倉動物病院)

FAX 04-2964-6466

(お問い合わせ電話番号:04-2963-4852)



切り抜きニュース

尻尾 iPS から大量卵子 一九大チーム初マウス 8 匹誕生ー

マウスの人工多能性幹細胞(iPS細胞)から培養だけで卵子を大量に作ることに世界で初めて成功したと、九州大や京都大などのチームが17日付の英科学誌ネイチャーに発表した。この卵子と通常の精子を体外受精させることで、8匹のマウスが誕生。今回の作製方法に磨きがかかれば、数年以内に人の卵子作りが実現する可能性もある。

これまでの手法では、作製過程でマウスの卵巣への移植が必要で、人への応用につなげるのは難しかった。ただ人の卵子の作製は将来、子の誕生につながり得る技術のため、倫理的な課題も浮上しそうだ。

チームの林克彦・九州大教授は「不妊女性のiPS細胞を使って卵子の形成を再現すれば、不妊の原因究明につながる。体外で大量の卵子を作ることができれば、絶滅危惧種の保護にも利用できるかもしれない」としている。

チームは、生後10週目のマウスの尻尾から作ったiPS細胞で、卵子や精子のもととなる「始原生殖細胞」を作製。その後、体内で卵子ができる約5週間の週程を3段階に分け、さまざまな試薬を用いて培養した。その結果、特定の条件下で計約4千個の卵子ができた。これに通常の精子を使って約1,300個の受精卵を作り、経過を観察した。

今回の体外受精でマウスが誕生した割合は、 1%未満だった。九州大によると、通常の卵子を 使う体外受精の成功率は60~70%。培養条件を改 良するなどして卵子の質を高めることが、今後の 課題という。

これまでもマウスのiPS細胞から始原生殖細胞は作られていたが、受精が可能な卵子にするには、別のマウスの卵巣へ移植する必要があり、一度に卵子を作製できる数には限りがあった。

平成28年10月18日 埼玉新聞

人なつっこいイヌに共通遺伝子 - スウェーデンのチームが分析-

イヌがオオカミと違って人に懐きやすいのは、 特別な遺伝子の特徴を持っているから―こんな分析をスウェーデンの研究チームが明らかにした。 困ったときに人に頼る性格のイヌに共通する遺伝子を探し当てたという。英科学誌サイエンティフィック・リポーツに論文を発表した。

研究チームは、共通の環境で育てられたビーグル犬437匹に対し、初対面の女性と同じ部屋に入れ、床の上に置いた透明の容器からおやつを取り出す実験を繰り返した。

容器は三つあり、二つは簡単にふたが開いて中のおやつが取り出せる。残り一つはふたが固定されていてイヌには開けられない。困ったイヌが女性に目で訴えたり、飛びついたりする様子を録画し、人に助けを求める度合いを数値化した。

人に頼る性格のイヌとそうでないイヌ計約200 匹のDNAを分析したところ、性格の違いに関係 するとみられる二つの領域が判明。この領域には 五つの遺伝子が含まれており、そのうち四つは人 でも社会性との関連が指摘される遺伝子という。

共通の祖先をもつオオカミは人に頼ることはない。1万5千年以上前にイヌが家畜化され、人とうまくつきあえる遺伝子が進化した可能性があるという。 (ワシントン=小林哲)

平成28年10月20日 朝日新聞

犬・猫つめ込み飼育規制へ 一環境省が検討会 広さ、数値でー

大や猫を劣悪な環境で飼育・展示する繁殖業者やペットショップが問題となっているため、環境省は今年度中にも専門家らによる検討会を立ち上げる。ケージの大きさなどを具体的な数値で規制する「飼養施設規制」の導入を目指す。

欧州先進国では、犬や猫を飼育するために檻(犬舎)やケージを使う場合、必要な広さを具体的な数値で定めているが日本にはそうした規制が一切ない。ペットショップやフードメーカーなどで作る団体の2016年調査では、繁殖のために飼育されている犬は国内に推定約23万匹。7割以上がケージで飼われている。

環境省では、すでに有識者への聞き取り調査を 開始しており、今年度中にも獣医学の専門家らに よる検討会を立ち上げる。「狭い施設のなかに多 数を詰め込むような悪質な飼育状況を改善した い」(動物愛護管理室)とし、動物愛護法の次の 見直し議論が始まるとみられる来夏までに規制導 入の道筋をつけたいとする。

環境相の諮問機関である中央環境審議会の動物 愛護部会は12年に動物愛護法を改正する際、「現 状より細かい規制の導入が必要」とし、飼養施設 規制の導入を促す報告書を提出している。

(太田匡彦)

平成28年10月30日 朝日新聞

イヌの人工血液、宇宙技術で -たんぱく質解析、合成-

献血システムがある人間と異なり、イヌなどの動物医療では輸血用の血液確保が深刻な問題となっている。中央大と宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究チームは、国際宇宙ステーションで培ったたんぱく質解析技術を使い、イヌ用の人工血液を開発した。長期保存が可能で、血液型に関係なく使えるといい、5年後の製品化を目指す。論文は10日付の英科学誌サイエンティフィック・リポーツに掲載された。

人工血液は酸素を運ぶ能力が重要。ウシのヘモ グロビン(酸素を運ぶたんぱく質)を使った製剤 もあるが、副作用も多かった。イヌの血液中のた んぱく質(アルブミン)でヘモグロビンを覆えば 副作用は避けられるが、アルブミンはイヌの血液 から採取するしかなく、安定供給が難しかった。

中央大の小松晃之教授らは遺伝子組み換え技術 を用い、酵母にイヌのアルブミンを作らせること に成功。このアルブミンでウシのヘモグロビンを 包んだ分子を合成した。

研究チームはJAXAが持つたんぱく質の解析技術で分子の立体構造を詳細に分析し、安全性や酸素を運ぶ能力などを確認。実際にイヌに投与したところ、安全性に問題はなかったという。

小松教授は「今回の分子は宇宙に行ったものではないが、宇宙の経験を生かした新しい技術が導入されている」と話している。

平成28年11月10日 時事通信

平成28年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成28年11月20日現在)

年 月 日	産業動物	小動物	公 衆 衛 生
4月	一	3 20 10	<u> </u>
5月			
6月5日(日)		北支部 「動物の呼吸器疾患の診断と治療」 日本大学 山谷 吉樹 先生 (深谷市 深谷市男女共同参画推進センター)	
6月17日金 ~19日(日)		会/第104回日本獣医循環器学会/第59回日本 合同学会(さいたま市 大宮ソニックシティ)	
7月18日 (月·祝)		東支部 「皮膚をアップデートする! 世界獣医皮膚科会議をふまえて」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月24日(日)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(2)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
8月			
9月4日(日)		東支部 「日常の診療に役立つ!!運動器疾患に対する 最新の情報を知っておこう〜猫の整形外科 疾患・超音波検査を中心とした新たな画像 診断手法〜」 日本大学生物資源科学部 枝村 一弥 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9月11日(日)	平成28年度 関東・東京	東京合同地区学会	
10月2日(日)		南第一支部・南第二支部 「猫の腎臓病」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
10月12日休	北支部 「開発者から伝えたい、明日から の診療に役立つ…抗菌薬情報」 鹿児島大学 松本修治 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月22日(土)	北支部・しゃくなげ会・畜産技術振興会 「仔牛の飼養管理と疾病予防 対策について」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (深谷市 埼玉県農林公園)		
10月30日(日)		西支部 「犬の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越西文化会館)	
11月27日(日)		東支部 「遭遇頻度の高い脳疾患」 日本獣医生命科学大学 長谷川 大輔 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産業動物	小動物	公 衆 衛 生
12月 4 日(日)		西支部 「猫の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月11日(日)		北支部 「難治性消化器疾患と内視鏡検査(仮)」 日本大学 亘 敏広 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館 さくらめいと)	
12月18日(日)		南第一支部・南第二支部 「犬の特発性てんかん・特発性脳炎の診断 と治療」 東京大学 松木 直章 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
12月22日(木)	農林支部 平成28年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (さいたま市 埼玉県県民健 康センター)		
平成29年 1月15日(日)		西支部 「膝関節疾患へのアプローチと外科テクニック」 東京大学動物医療センター 本阿彌 宗紀 先生 (川越市 川越南文化会館)	
1月15日(日)		北支部 「緑内障の診断と治療」 どうぶつ眼科EyeVet 小林 一郎 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
1月29日(日)		さいたま市支部 「疾患と問題行動の関わり」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明日香 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月24日金 ~26日(日)	平成28年	度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(石川 (石川県立音楽堂ほか)])
3月5日(日)		さいたま市支部 「災害時に伴う問題行動とその予防」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明日香 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
3月12日(日)		西支部 「上部呼吸器診療(仮)」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (場所 未定)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL http://www.saitama-vma.org/ ID:SVMA(半角・大文字) パスワード:MITSUO(半角・大文字)

- 10月21日 第60回埼玉県公衆衛生大会(さいたま市 さいたま共済会館)
- 10月22日 北支部・しゃくなげ会・畜産技術振興 会合同学術研修会(深谷市 埼玉県農 林公園)
- 10月30日 西支部学術講習会(川越市 川越西文 化会館)
- 11月9日 日本獣医師会全国獣医師会会長会議 (福岡県北九州市 リーガロイヤルホ テル小倉)
- 11月10日~11日 第2回世界獣医師会 世界医師会 "One Health"に関する国際会議(福岡県北九州市 リーガロイヤルホテル 小倉)
- 11月12日 日本獣医師会主催2016動物感謝デー in JAPAN(福岡県北九州市 西日本 総合展示場)
- 11月15日 平成28年度新入会員研修会(さいたま 市 埼玉農業共済会館)
- 11月27日 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ)
- 12月4日 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)
- 12月5日 テレビ埼玉「新春挨拶番組」収録(さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル)
- 12月7日 集合狂犬病予防実施者講習会(さいたま市 市民会館おおみや)
- 12月11日 北支部学術講習会(熊谷市 さくらめ いと)
- 12月13日 第4回理事会(さいたま市 寿々家)
- 12月15日 日本獣医師会 第 4 回理事会 (東京都 港区 日本獣医師会)
- 12月18日 南第一支部・南第二支部合同学術講習 会(さいたま市 大宮ソニックシティ)
- 12月22日 平成28年度埼玉県家畜保健衛生業績発 表会(さいたま市 埼玉県県民健康セ ンター)

平成29年

1月15日 西支部学術講習会(川越市 川越南文

化会館)

- 1月15日 北支部学術講習会 (深谷市 埼玉グラ ンドホテル深谷)
- 1月29日 さいたま市支部学術講習会(さいたま市 With Youさいたま)
- 2月12日 埼玉県獣医師会ボウリング大会(さいたま市 スポルト浦和国際ボウル)
- 2月15日 平成28年度第3回関東・東京合同地区 獣医師会理事会 (川崎市 川崎日航ホ テル)
- 2月17日~19日 第13回日本獣医内科学アカデミー 学術大会(神奈川県横浜市 パシフィ コ横浜)
- 2月24日~26日 平成28年度日本獣医師会獣医学 術学会年次大会(石川)(石川県金沢 市 石川県立音楽堂ほか)
- 3月5日 さいたま市支部学術講習会(さいたま 市 大宮ソニックシティ)
- 3月12日 西支部学術講習会(場所 未定)

編集後記

今年の秋も短く、突然秋風が吹いたと思ったら北海道では11月に入ったばかりなのに大雪、もう根雪だそうだ。変化が早い。自然が成す業、人類は生きていく上でこれに順応していかなければいけないのであろう。

第2回世界獣医師会-世界医師会"One Health"に関する国際会議が11月10日から2日間、福岡県の小倉で盛大に開催された。藏内日本獣医師会長と横倉日本医師会長には、素晴らしい会を日本で開いていただいて心より敬意を表します。本当にお疲れ様でした。

「"One Health" の概念から実践へ」と いうすばらしい国際会議であった。海外か らは42ヶ国の獣医師と医師が集まって会場 が満員だった。中でも、今までは医師会、 歯科医師会、薬剤師会、看護師会だったが、 獣医師会もそして環境科学者も加わって "One Health"を地球規模で成し遂げよう とする考えには共感した。医療における地 球規模での薬剤耐性菌の蔓延は深刻で、 1928年にフレミング博士がペニシリンを発 見して12年後の1940年にはペニシリンの耐 性菌を発見したそうである。その後の抗生 物質の発展は著しいものがあるが、抗菌剤 の種類も使用量も増えるに連れて耐性菌が 増え、開発が追いつかない。そして薬剤の ために想像のつかないほど生態系を壊して いる。抗生物質の出荷量が畜産業では歯止 めがかかってきているが、水産業では使い 方に問題があり、小動物診療獣医師は基準 が無く人体薬まで使用しているのでどれだ け使われているのか分からない状態であ る。"人類が後世まで抗生物質を使い続け られ、薬剤耐性菌を減らすには、過剰使用 と誤用を防止することであり、「責任ある 慎重な使用を」と乞うていた。

人と動物の共通感染症では、狂犬病はアフリカやアジアの先生方から我が国のような非発生国では考えられない症例の発表があった。発生国であるインドの先生によると、最も狂犬病に関わる動物は犬であり公衆衛生のサーベイランスに加えて犬の頭数の調査とその廃棄物の管理、動物の繁殖管理、ワクチンの接種、国民への啓発運動、ワクチン在庫の確保といった対策を継続す

ることなど、発生国で行っている方法と同じような取り組みであった。遠い国のようだが、アジア、アフリカ地域の先生方は医師も獣医師も同じように狂犬病、エボラ出血熱、マールブルグ、重症熱性血小板減少症など、数多くの人と動物の共通感染症に命を懸けて取り組まれており、我々もせめて獣医師にしか出来ない狂犬病予防にしっかり取り組まなければいけない。

そして、2月7日に28年度集合狂犬病予防 注射実施者講習会が、さいたま市の市民会 館おおみやで開催される。今回の講習会で は、長年、小動物臨床に携わっておされ病の 会員で羽生市開業の宮沢勉先生に在光大病を 修の狂犬病を診た先生方が少なくな験で 際の狂犬病を診た先生方が少なで体験高 とていただきました。先生は宇都に罹さる 農林専門学校の学生時代に狂犬病に罹患れて で、9月の予防協議会の慰霊祭で体験高 していただきました。先生は宇都に罹患れて を とや、開業後も数頭診たそうです。皆ら 関係者の皆様に聴いていただくことをお願 いいたします。

政府がJA全農の購買部門の縮小など抜本的な組織改革をするという。大歓迎だ。 農家から肥料や農機具、家電製品販売の利益を、それも書類だけの手数料を取って、さらに、米や肉、生乳の出荷まで手数料を取り、挙句の果てが全ての各種保険、葬儀まで。火災や自動車事故などの対応は遅い。 農家は二重に手数料を支払っているのである。国会議員の小泉農林部会長が言うように、農業団体の為ではなく農業者の為の当たり前の改革をすべきではなかろうか?

ノーベル生理学・医学賞を受賞した北里 大学特別栄誉教授の大村智先生が会見で述べられた言葉には感動した。すばらしいお 言葉である。それは「科学者は人の為にや ることが大事だという思いでやってきた」 と言う。己もそうありたいし、その様に努 力したい。

最後に寒くなりました。最近の気候はあまりにも気まぐれです。会員の皆さん体調管理には充分気を付けて師走を迎えましょう。 (不動)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

- 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。-

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、 感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一 つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につなが る。」との考え方(One World-One Health)が提唱され、「人と動物が共存 して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領ー獣医師の誓い -95年宣言 -」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と 獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、 動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与す るとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境(生態系)は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会(WSC)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

699

-3962 -5962

(E)

広告

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

高野恵一 代表取締役

URL: www.zenoaq.jp

広告







森久保薬品株式会社 #奈川: 046-221-0620 群馬: 027-230-3322 東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 山梨: 055-224-5278 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613